

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【小野中学校】

＜第1学年：「地域を知る」地域の現状について知ろう
～SDGsの視点から～（防災学習）＞



1 主題設定の理由

今年度、本校が防災教育協力校に指定されたことを受け、防災学習を通して地域を学ぶ活動を計画した。地域の安全を守る取組や、それらに携わる人々を知り、自分も地域の一人として何ができるのか、非常変災等の緊急事態において、どのように行動すればよいのか考えることを通して、SDGsの視点から防災学習を行い、地域を愛し、地域に貢献できる生徒の育成を図ることとした。

2 学習内容

①SDGsから防災を考える「小野めぐり」

地区別の班ごとに地域巡りを行った。危険個所を見付けながら、自宅周辺から指定避難場所へ行った。それぞれの場所でインタビューを行い、災害グッズや備蓄食料、避難場所開所の方法、指定避難場所の種類などを学んだ。各施設の担当の方々や愛媛大学のサポートメンバー、保護者の協力のおかげで、安全に実施することができた。



②とどけ！命のはがきプロジェクト

この活動は生徒たちが発信者となり、災害の危険性や避難の重要性など、今まで学んできたことをもとに大切な人の命を守りたいという気持ちをはがきを書いて家族に送るものである。「死なないでほしい」という思いが家族に届くよう内容を考えた。「学んだことを家族だけでなく地域の人に伝え、一人でも多く助けられたらいい。」という感想があった。

私は防災学習を通して毎日の当たり前の大切さを知ることができました。それと同じように和連自身も家族も大切なので1日1日を大切に生きてほしいです。私もいつまでも一緒にいられるわけじゃないので大切に過ごしていきたいです。

3 研究のまとめ

愛媛大学防災情報教育センターや松山市総合政策部防災・危機管理課、小野公民館の温かい御支援のおかげで充実した学習になり、生徒たちが災害時にどのように行動すればよいのか理解することができた。今後も地域を愛し、地域に貢献できる生徒を育てていきたい。